令和６年度
昭和医療技術専門学校
学校関係者評価

昭和医療技術専門学校
学校関係者評価委員会

本校では『専修学校における学校評価ガイドライン』に基づき自己点検評価を実施し、総合的に評価を行っている。その結果に基づいて、学校関係者評価委員会による学校関係者評価を実施したため、報告する。

１．教育理念・教育目標
・教育理念・教育目標について、学校案内のみならず、入学前オープンキャンパスから始まり、入学式後保護者向けオリエンテーション、学生ガイダンスにて説明を行い、概ね理解を得られている。

２．学校運営
・現在の年間スケジュールに基づいて、より学生の個人学習意欲向上のため、自由学習時間を確保し、学生のニーズに合わせて対応を行っている。
・職員会議により全職員で全学生の現況の把握を徹底し、例年に引き続き全学生の進級及び卒業ができるよう、学習指導に努める。

３．教育活動
・各担当科目者（専任教員及び非常勤講師）との連携を図り、成績評価・授業方式について共有化し、公正な評価が必要である。講師会を通じて、学校方針から学生成績評価まで公開し、共有化が図られていることから、特に変更・是正すべき点はないと言える。
より将来に繋がる授業内容を期待する。
・専任教員は医療機関内での研修を行っており、より実践的かつ専門的な教育を行うことができている。

４．学修成果
・国家試験取得について十分な合格率を得ることができている。専任教員だけでなく、非常勤講師とのよりよい連携により、近年の求められている教育内容を取り入れた国家試験対策を行うことができている。
・就職支援について、一人一人への丁寧な指導が行われている結果、就職を希望する学生は全て就職できた。今後は学生の希望に合った就職活動ができるよう、指導を行っていく。

５．学生支援
・全教員が学生の個性を十分に把握しており、十分な支援が行えている。勉学に対する個人差についても、個別指導を行うことで細やかに把握ができ、基礎学力の向上に繋がっている。その結果、留年生をほぼ出すことなく、進級できている。
・卒業生に対する同窓会活動として、学術発表交流会を実施している。今後は資格取得支援体制を整えることも教育機関の役割であるとの意見もあり検討していく。

６．教育環境
・各実習備品について、学生必要数は充足されているため、特に問題はないと言える。
・機器等については定期的メンテナンス評価を行い、実習等に支障がないよう努める。
・新たに導入されたカリキュラムにも対応できる機器備品を確保している。

７．学生の受入れ募集
・学生募集について、学校ホームページの充実・定期的なオープンキャンパスの実施、学校訪問・学校説明会など広報活動を適切に行っている。
・4 年制・3 年制教育と臨床検査教育は様々であるため、本校の特色ある教育を多くの方に周知させ、定員確保に努める。

８．財務
・特に問題なく、健全にすすめられている。

９．法令等の遵守
・個人情報保護に関し、入学時に学生並びに保護者への説明をしており、理解を得られている。

１０．社会貢献・地域貢献
・学外清掃活動を通し、地域住民との交流が深められ、学習環境の向上にも繋がっている。学業を優先するとボランティア活動を行うことは時間的に難しい面があるが、このような活動を全員で行うことにより、学校全体として社会貢献を行うことができている。

１１．国際交流
・海外研修及び留学生受入れについても困難である。異文化を知る学習を取り入れることで、知見を広げ、学習効果に結びつくことを期待する。